

ロボテック戦略月次レター（2021年4月）

ヘルスケアセクターが堅調

新型コロナワクチン普及による経済再開に伴い、手術支援ロボットの需要拡大へ

2021年4月のグローバル株式市場（米ドルベース）は上昇しました。グロース株からバリュー株へのローテーションが続き、長期成長テーマを追求しているロボテック戦略にはやや逆風となりました。しかし、ポートフォリオの約20%を占めるヘルスケアセクター銘柄が堅調で、全体のパフォーマンスに貢献しました。



世界的に新型コロナワクチンの普及が続いており、米国では急速に経済活動の正常化が進み、欧州経済も改善しつつあります。当社では、PMIなどの指標で明らかのように、世界経済の回復とそれに伴う個人消費の拡大に関して明るい兆候を見出しています。

手術支援ロボット企業の業績堅調、先送りされてきた手術需要の回復反映

ヘルスケアセクターの中では、手術支援ロボットの主要企業であるインテュイティブサージカルは、非常に好調な第1四半期決算を発表し、株価は堅調に推移しました。同社のロボット出荷は堅調で、米国、欧州、アジアを中心とした2021年の手術増加率は22-26%と予想しています。第1四半期のロボット販売増や手術数の今後の大幅増の見通しは、米国の医療システムが緊急の新型コロナ患者対応から通常の態

勢に戻りつつあることを示唆しています。選択的手術（必須および緊急ではない手術）の多くが2020年に延期されましたが、経済が再開するにつれ、手術の需要が拡大しつつあります。4月は同様に、グローバスメディカル（脊髄手術支援ロボット）、ジンマーバイオメット・ホールディングス（膝手術支援ロボット）など、ポートフォリオに組み入れている他のヘルスケア銘柄も堅調に推移しました。

手術支援ロボット、世界中で大幅な成長の可能性

手術支援ロボットの世界市場は、2023年まで年平均成長率30%を達成すると予想されています。手術支援ロボットの用途は技術の急速な進歩により拡大しており、繊細な手術も含むようになってきています。さらに5G（第5世代移動通信システム）やAI（人工知能）の進展により、ロボット支援の応用範囲の拡大が予想されています。なお、世界で実施される手術のうち、ロボットを活用した手術はわずか4%に過ぎず、そしてその大半は米国で行われています。ロボット手術はその種類と地域の両面で拡大を続けると予想され、魅力的な投資機会を生む続けると当社は考えています。

ロボテック戦略で注目すべき、日本の自動化関連企業と半導体不足

ロボテック戦略で4月に注目すべきこととしては、日本の自動化関連企業のファナック（産業用ロボット）やキーエンス（センサー、ビジョンシステム）が好調な業績を発表しました。自動化関連需要については、2020年下期は中国に関する売上や注文の回復が顕著でしたが、現在では北米も回復しつつあり、そして欧州や日本でも回復の兆しが見えてきました。

なお、継続する半導体不足で着目すべきことは、久しぶりに半導体企業の価格支配力が回復していることです。これは利益率の向上につながり、半導体企業にとって追い風となります。PC、スマートフォン、自動車、工業製品、データセンターなど各方面からの半導体需要が極めて旺盛なため、半導体企業は供給契約をこれまでの3カ月程度から2年前後に長期化でき、価格も固定化できます。米中対立などの地政学的な懸念材料があり、供給不足も徐々に解消に向かうとみられますが、強い需要は当面続く見込みです。

関連リンク

[半導体不足の影響は?: 影響は一時的、半導体企業やロボット関連業界には中期的に恩恵に](#)

[アクサIMのロボテック戦略について](#)

[フラムリントン株式: 注目のテーマ株式](#)

ポートフォリオ・マネージャーが語るロボテック戦略への新型コロナウイルスの影響

ディスクレーム

アクサIMについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスおよび伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2020年12月末時点で約8,580億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサIMは、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、5,550億ユーロにおよぶESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業にESG原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

アクサIMは20カ国27拠点において2,440名余の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はお客様の負担となります。

【ご留意事項】

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-20954